整理番号: MG-7002 J-7

親水性PTFEメンプレンカプセルカートリッジフィルター

CCFH-020-C1 (B, H, N) CCFH-020-D1 (B, D, H, N) CCFH-020-E1 (B, D, H, N) 東洋濾紙株式会社 1/4 作成日2003年 7月 3日 改訂日2022年 7月14日

# 安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 親水性PTFE メンブレンカプセルカートリッジフィルター

CCFH-020-C1 (B, H, N) CCFH-020-D1 (B, D, H, N) CCFH-020-E1 (B, D, H, N)

供給者の会社名称,住所及び電話番号

会社名称 : 東洋濾紙株式会社

住所 : 東京都千代田区内幸町2-2-3

日比谷国際ビル5階

担当部門 : 品質保証部

電話番号 : 03-5521-2176

FAX番号 : 03-5521-2177

メールアドレス : trk-hinsho@advantec.co.jp

推奨用途 : 液体の精密濾過

使用上の制限 :・一般工業用途に限定して使用する。

・耐薬品性のない液体は使用できない。

・気体の濾過には使用できない。

・オートクレーブ滅菌、インラインスチーム滅菌な

どの熱滅菌は行えない。

・有機溶剤の濾過の際、帯電防止対策が必要になる

場合がある。

・一度使用したカートリッジフィルターを乾燥後に再度

使用する場合はアルコール置換が必要になる。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性: 区分に該当しない。健康有害性: 区分に該当しない。環境有害性: 区分に該当しない。

GHSラベル要素: なし。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名: カートリッジフィルター

成分及び濃度又は濃度範囲 : ポリテトラフルオロエチレン (CAS No. 9002-84-0)

(フィルター)

ポリプロピレン (CAS No. 9010-79-1、9003-07-0)

(ハウジング、ベント・ドレイン、エンドキャップ、

コア、プロテクター、サポートメディア)

ポリエチレンテレフタレート (CAS No. 25038-59-9)

(サポートメディア)

官報公示整理番号

化審法 : (6)-939 ポリテトラフルオロエチレン

(6)-402、(6)-10 ポリプロピレン

(7)-1022 ポリエチレンテレフタレート

安衛法 : 該当しない。

整理番号: MG-7002 I-7

親水性PTFEメンブレンカプセルカートリッジフィルター

CCFH-020-C1 (B, H, N) CCFH-020-D1 (B, D, H, N) CCFH-020-E1 (B, D, H, N)

東洋濾紙株式会社 2/4 作成日2003年 7月 3日 改訂日2022年 7月14日

4. 応急措置

吸入した場合

熱分解により発生するガスの吸引は、一時的に

インフルエンザに似た症状を示す。

症状は頭痛、関節の痛み、一般的不快感、発熱、咳、 悪寒、心悸亢進および胸部不快感を生じる。

医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合 飲み込んだ場合 : 該当しない。 該当しない。

: 該当しない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

: 水(噴霧)、粉末消火剤、泡沫消火剤、二酸化炭素

消火剤、ハロゲン化消火剤など。

使ってはならない消火剤

: データなし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項,

保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法

及び機材

: データなし。

: データなし。

データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

高温にさらされた場合は有毒ガスを発生する虞が

あるため、熱源への曝露、接触を避ける。

アルカリ金属、アルミニウム、マグネシウムのような

金属との接触を避ける。

保管

変質を防止するため、直射日光、紫外線、水濡れ、

高温、低温、高湿、屋外保管を避けると共に、強酸、

強アルカリとの接触を避ける。

3,000kg 以上の保存時には、消防法(指定可燃物:

合成樹脂類)の適用を受ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 日本産業衛生学会 : データなし。

ACGIH

: データなし。

設備対策

: 必要に応じて講じる。

保護具

必要に応じて使用する。

9,物理及び化学的性質

物理狀態

固体、カプセル容器状のフィルター。

色 臭い 半透明。

なし。

融点/凝固点

データなし。

沸点又は初留点及び沸点範囲:

データなし。

可燃性

あり。

爆発節用下限界及び爆発/上限界:

該当しない。

整理番号: MG-7002 I-7

親太件PTFEメンブレンカプセルカートリッジフィルター

CCFH-020-C1 (B, H, N) CCFH-020-D1 (B, D, H, N) CCFH-020-E1 (B, D, H, N)

東洋濾紙株式会社 3/4 作成日2003年 7月 3日 改訂日2022年 7月14日

引火点 : 該当しない。

自然発火点 該当しない。

分解温度 該当しない。 На データなし。 動粘性率 該当しない。 溶解度 水に不溶。

n-オクタール/水分配係数: データなし。

蒸気圧 データなし。

密度又は相対密度 データなし。

相対ガス密度 該当しない。 粒子特性 データなし。

# 10. 安定性及び反応性

反応性 通常の取扱い条件では安定。

260℃以上で極めてゆっくりだが分解を始める。

400℃以上では分解速度が速くなる。

熱分解により生成が始まる可能性のある温度レベルと

分解生成成分。

テトラフルオロエチレン ≥ 430°C ヘキサフルオロプロピレン ≥ 440°C パーフルオロイソブチレン ≥ 475°C ≥ 500°C

カルボニルフロライド

化学的安定性 通常の取扱い条件では安定。

危険有害反応可能性 データなし。

避けるべき条件 高温にさらされた場合は有毒ガスを発生する虞が

あるため、熱源への曝露、接触を避ける。

変質を防止するため、直射日光、紫外線、水濡れ、 高温、低温、高湿、屋外保管を避けると共に、強酸、

強アルカリとの接触を避ける。

混触危険物質 データなし。

危険有害な分解生成物 : テトラフルオロエチレン、ヘキサフルオロプロピレン、

パーフルオロイソブチレン、カルボニルフロライドなど。

# 11.有害性情報

急性毒性 : データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データ不足のため分類できない。 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 データ不足のため分類できない。

発がん性 データ不足のため分類できない。

生殖毒性 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 特定標的臓器毒性(単回ばく露) :

特定標的臓器毒性(反復ばく露) データ不足のため分類できない。

データ不足のため分類できない。 誤えん有害性

整理番号: MG-7002T-7

親木件PTFEメンブレンカプセルカートリッジフィルター

CCFH-020-C1 (B, H, N) CCFH-020-D1 (B, D, H, N) CCFH-020-E1 (B, D, H, N) 東洋濾紙株式会社 4/4 作成日2003年 7月 3日 改訂日2022年 7月14日

## 12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性) : データ不足のため分類できない。

水生環境有害性(慢性) : データ不足のため分類できない。

 残留性・分解性
 : データなし。

 生態蓄積性
 : データなし。

生態蓄積性: データなし。土壌中の移動性: データなし。オゾン層への有害性: データなし。

### 13.廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する(国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う)。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、 水質汚濁防止法などに沿って処理する(廃棄時には、産業廃棄物として処理すること をおすすめいたします)。

#### 14.輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報: 消防法における指定可燃物に該当する。

## 15. 適用法令

消防法

:第九条の四(指定数量末満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準、危険物の規制 に関する政令第一条の十二、別表第四指定可燃物(合成樹脂類。 3,000kg以上は消防法の適用を受ける。3,000kg未満の場合は物品の貯蔵 および取扱いの技術上の基準は市町村条例で定める)。

(ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート)

化審法

既存化学物質(6)-939

(ポリテトラフルオロエチレン)

既存化学物質(6)-10、(6)-402

(ポリプロピレン)

既存化学物質(7)-1022

(ポリエチレンテレフタレート)

## 16. その他の情報

#### 記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて 作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証な すものではなく、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な 取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の 実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

### 参考文献

- ・GHSに基づく化学品の分類方法 (IIS Z 7252:2019)
- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル,作業場内の表示及び 安全データシート(SDS) (JIS Z 7253:2019)